学校番号	1206

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	応用国語	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	図でつかむリード現代文１、楽しく書ける作文・小論文入門編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

おもに看護学科への進学をめざす生徒に対して開講する。過去問や既存の文章題などを通じて記述力や長文読解力の養成に重点を置きつつ、語彙力・漢字の力なども身につける。また問題演習と解説にとどまらず、受験国語特有の問題や人類の課題などにもふれ、「自分で考える」「伝えたいことが伝わる」ことを大切にする授業をおこなう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
論理的な文章や実用性について、設問で問われたにように対して適切に答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
医療を中心に様々なジャンルの文章の内容や解釈をとして、自身のものの見方や考え方を深めるとともに、それらを順序立てて言葉で説明できる。
【学びに向かう力、人間性等】
設問に粘り強く取り組み、他者の意見を参考に自分の意見を持つ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章の構成や添加の方法に関する理解を深め、文章の理解に必要十分な語彙力と漢字の力を身につける。記述・論述の言葉遣いを学び、使うことができる。	文章を読み、設問で問われた内容に対して適切に答えることができる。様々なジャンルの文章の内容や解釈を通して、自身のものの見方や考え方を深めるとともに、それらを順序立てて言葉で説明することができる。	自分の考えを言葉にすること、文章の内容を理解して課題に取り組むこと、問いに対して適切な長さの文章で答えることに対して粘り強く取り組む姿勢を養う。「わかる」「解ける」「伝わる」ことのよろこびを実感しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	接続語、指示語、脱文挿入について、長めの文章にあたりながら理解を深める。 [教材] 知識プリント、 石黒圭『文章は接続詞で決まる』、 名古屋隆彦『質問する、問い返す』	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 a: 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 a:文章の種類に基づく効果低な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:設問に積極的に取り組み、また文章の内容を理解しようとしている。	プリント	プリント 課題	参加状況
	具体例、対比、抽象と具体の知識を身につけることで、話題・問題提起や筆者の主張について見当をつける。 [教材] 知識プリント 、 梶谷真司『考えるとはどういうことか』、 内山節『半市場経済』	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を増やしている。 a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]:主張を支える根拠や結論を導く根拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c:具体例、対比、抽象の部分を本文から探し出し、筆者の主張と結びつけて理解しようとしている。	プリント	プリント 課題	参加状況
	グラフや表など別添の資料がある文章に触れ、本文との関連を把握する。 グラフや表から読み取れることを書き言葉で表現したり、そこから考えた自分の意見を述べたりする。 [教材] 資料の読み方プリント、 グラフ課題プリント、 別添資料のある文章題プリント、 資料作成課題プリント	a:情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深め、活用している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。 b[読]:関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容を解釈できる。 b[書]:情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。 c:答えが明確に決まる問いもあれば、そうではない問いもあることを理解し、自分の主張を相手に正しく伝えるための根拠を探そうとしている。	プリント	プリント 作品	参加状況 作品
	科学や医療・看護に関する文章を読み、内容や結論(現象、結果を含む)の理由を適切な長さの文章で説明する。 本文の要旨を説明する。 [教材] 松田雄馬『人工知能の哲学』、 辻野亮『生物多様性とどう接していますか』	a:主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点で解釈することができる。 b[読]:人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを述べることができる。 b[書]:実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理し	プリント	プリント 作品	参加状況 作品

		て、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 c:自分で文章を考え、記述しようとしている。本文の趣旨を理解し、他者に説明出来るまで理解を深めようとしている。			
	書き言葉を理解し、科学や医療・看護を題材にして四百字程度の小論文を書く。 [教材] 『楽しく書ける作文・小論文』	b[書]:立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫して記述できる。 b[書]:多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 b[書]:文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。 c:自分の文章と向き合い、精査し、よりよいものを作ろうとしている。	プリント	プリント 作品	参加状況 作品

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間